

令和6年7月26日  
健康福祉部疾病対策課  
043-223-2574

## 感染症予防のための情報提供について

|       |                   |       |                                     |
|-------|-------------------|-------|-------------------------------------|
| 病名    | 腸管出血性大腸菌感染症（O157） |       |                                     |
| 住所    | 匝瑳市               | 年齢・性別 | 73歳・女性                              |
| 職業等   | 無職                | 症状等   | 下痢、腹痛、血便、溶血性貧血、急性腎不全、溶血性尿毒症症候群（HUS） |
| 発病年月日 | 令和6年7月16日         | 届出年月日 | 令和6年7月24日                           |

匝瑳市在住の73歳の女性が、下痢、腹痛等の症状を呈し、腸管出血性大腸菌感染症及び溶血性尿毒症症候群（HUS）と診断され、海匝保健所に発生届が提出された。

患者は、現在、成田市内の医療機関に入院中であり、快方に向かっている。

## 〔患者発生の経過〕

- 7月16～17日 下痢、腹痛症状が発現
- 7月18日 血便が見られたため、匝瑳市内の医療機関Aを受診。  
CTで広範囲の腸管浮腫を認めたため、医療機関Aに入院。
- 7月21日 血小板減少、HUSを疑う症状が見られたため、成田市内の医療機関Bへ転院。ICUへ入室。
- 7月23日 便検査によってO157（VT2）の陽性が判明
- 7月24日 医療機関Aから腸管出血性大腸菌感染症の発生届が提出

## 〔県民の皆様へ〕

- 調理や食事の前、動物や土に触った後には、必ずせっけんを使用して十分に手を洗いましょう。
- 細菌が残っている場合があるため、肉を調理する場合は、中心部まで十分に加熱しましょう。また、「生肉を扱う調理用の箸やトング」と「焼けた肉を扱う食事用の箸やトング」とを必ず分けましょう。
- 溶血性尿毒症症候群（HUS）など非常に重症な状態になる場合もありますので、下痢、血便等の症状がみられた時は、早めに医療機関を受診しましょう。
- 社会福祉施設、介護保険施設、学校等においては、日頃から職員、施設利用者等の健康管理に注意しましょう。

## 【参考】

### 腸管出血性大腸菌感染症とは

#### 1 感染経路

- ・腸管出血性大腸菌は牛など家畜の腸管内にすることがあり、その糞便で汚染された食品や、糞便で汚染された場所を触った手指から経口的に感染する。

#### 2 腸管出血性大腸菌とは

- ・大腸菌の中にはベロ毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群(HUS)を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれているものがある。代表的なものは「腸管出血性大腸菌 O157」で、そのほかに「O26」や「O111」等が知られている。

#### 3 潜伏期間

- ・3～5 日がもっとも多い。

#### 4 症状

- ・腹痛、水様性下痢、血便
- ・嘔吐、38℃台の高熱
- ・重篤な合併症である溶血性尿毒症症候群（HUS\*）になる場合もある。

#### \*HUS とは

溶血性貧血、血小板減少、急性腎障害の3主徴をもって診断する。一般に HUS は腸管出血性大腸菌感染症の患者の約 1～10%に発症し、下痢あるいは発熱出現後 4～10 日に発症することが多い。

#### 5 治療

- ・対症療法
- ・脱水に対する処置（補液など）

#### 6 年別発生状況（腸管出血性大腸菌感染症届出数）

|     | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年※ |
|-----|-------|-------|-------|-------|--------|
| 千葉県 | 124   | 131   | 149   | 154   | 48     |
| 全国  | 3,088 | 3,236 | 3,352 | 3,811 | 1,259  |

※千葉県分は1月1日～7月21日までの累計(本件を含む)。全国分は2024年第28週現在。